



佐田の富士関引退 年寄「中村」襲名

5月28日、日本相撲協会は佐田の富士関(本名・山本哲博さん(加津佐町出身))の引退を発表しました。

佐田の富士関は、2003年初場所です初土俵を踏み、2011年九州場所です新入幕を果たしました(幕内在位22場所)。近年は股関節痛を抱えており、「体に限界を感じて、続けるのが難しいと思った」と引退理由を語りました。

今後は、部屋付きの親方として境川部屋を支えています。今後のご活躍を祈念いたします。



警察と防災行政無線活用の覚書

6月1日、本市と南島原警察署は防災行政無線の活用に関する覚書を締結しました。

これは、市の防災行政無線を活用し、防犯・交通情報などを住民の皆さんに広報することで、安全で安心なまちづくりを推進することを目的としているものです。

今回の締結により、市内や周辺地域において、連続発生が予想される凶悪事件や、生命の危険が及ぶおそれのある行方不明事案などが発生した場合、南島原市警察署は市に対して防災行政無線による広報を依頼することができるようになります。



宮崎祐治さんに長崎行政評価事務所長感謝状

行政相談委員の宮崎祐治さん(加津佐地区担当)が、行政相談活動に尽力されたことにより、5月、長崎行政評価事務所長感謝状を受賞されました。

宮崎さんは、平成27年に総務大臣から本市担当の行政相談委員に委嘱されており、国など役所の仕事に関する住民からの相談を無報酬のボランティアとして、受け付けています。



雲仙・普賢岳火砕流から26年

雲仙・普賢岳噴火災害で43人が犠牲になった大火砕流から26年を迎えた6月3日、雲仙岳災害記念館(島原市)で追悼行事「いのりの灯」が開かれました。

旧大野木場小卒で当時6年生だった大山貴之さんは「両親や地域の人たちのおかげで今の生活がある。人間同士の協力やつながりは大切」とメッセージを述べました。イベントでは約千本のキャンドルが鎮魂の明りを灯しました。



空手道で九州・全国大会へ

6月6日、空手道の県予選を勝ち抜き、見事、九州・全国大会への切符を手にした選手を激励しました。

※出場選手は下記のとおり(敬称略)

■少年少女の部	■成年男子の部
【北空会】	【北空会】
本田 聖蘭(組手の部・形の部)	宮川 源太
福田日瑠里(組手の部)	(組手個人戦 重量級)
池田 夏帆(形の部)	中村 要平
【拳心館】	(組手個人戦 重量級)
石橋 海龍(形の部)	



■設置箇所(5月26日)…みずなし本陣ふかえ(深江町)／ありえコレジヨホール(有家町)／市役所西有家庁舎／西有家小学校／エコ・パーク論所原(北有馬町)／旧吉川小学校(南有馬町)／原城図書館(南有馬町)／赤い屋根のふるさと交流館(加津佐町)



大島造船所様から寄附をいただきました

6月9日、株式会社大島造船所(西海市)から小池副社長(写真右)がお越しになり、宮中献穀事業に対し、寄附をいただきました。これは、同社の特別顧問の相川さん(西有家町出身・写真左)が今年5月の関東島原半島会の折に、本事業を知ったことがきっかけとなり実現したものです。

相川さんは「地元に貢献できることはうれしい。大きな事業に取り組むことは南島原市出身者の誇りだ」と話しました。



南向きに生きよう！ パッションフルーツで 緑のカーテン

南島原市はパッションフルーツをつかった緑のカーテンによる地球温暖化防止活動への取り組みにより、地域活性化を図ります。

これは一般社団法人 おひさまNet ながさきと鈴田峠農園有限会社の共催で行うものです。

手始めに、市役所などに緑のカーテン(苗)を設置し、6月2日に講座を実施しました。

エコ・パーク論所原の山口さんは「緑のカーテンによってできる木陰にお客様の休憩スペースをつくりたい。ゆくゆくは収穫した果実の商品化も考えたい」と話していました。

早くも今年夏には葉が生い茂り、緑のカーテンができあがる予定です。また今後、市は鈴田峠農園有限会社と協力し、2020年の東京オリンピックでの活用を目指します。



きゅうちゅうけん ごく 宮中献穀事業はじまる

各都道府県の農業者代表が新穀米を宮中に献上する宮中献穀事業に本年度、県内で選ばれた加津佐町津波見地区で、6月1日、献穀事業が始まり、^{さいてんきよめばらい}齋田清祇と播種祭の儀式が行われました。本市が選定されたのは合併後初めて。

奉耕者は農業を営む木下勝徳さん・恵理さん夫妻。夫妻は「身に余る光栄で、精一杯努力します」と決意を述べました。